

スポット

- ・平成30年度事業計画
- ・平成29年度事業報告
- ・事業所紹介 スペース・まどか
- ・新人紹介

あかつき



第75号 2018年9月1日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1

☎ 042-560-7840

http://www.akatuki.or.jp Email:soumu@akatuki.or.jp

絵：瑞穂町福祉作業所さくらのメンバー

平成30年度事業計画

【はじめに】

今年の9月で当法人は創立50周年を迎える。半世紀の間、当法人が有り続ける事が出来たのも、結核から回復し職を得る為に法人設立に尽力してきた先人の努力の賜物であり、長きに渡り法人を支えて下さった関係者の方々のお陰である。この先も法人創設時の意思を受け継ぎながら、時代やニーズに合わせて、事業継続させていく事が私たちの使命である。

込みと実施状況にどの程度の差が生じるか判らないが、運営の際は取りこぼし等がないように注視し収入の確保と運営安定に極力努める。

【福祉事業活動】

施設経営面では就労移行支援セルフあかつき、就労継続支援B型あかつき授産所及び就労継続支援B型スペース・まどかにおいて利用率の向上を図る必要がある。利用率増に向けて、関係機関への働きかけを含め、各事業所の状況に合わせた対策を講じる。就労移行支援セルフあかつきは新たに創設された就労定着支援事業を実施する。

平成30年度の障害福祉サービスの報酬改定では、就労移行支援事業の就労実績を基準とした基本報酬単価の設定や、就労継続支援事業で廃止となった目標工賃達成加算部分を新たな基本報酬単価では補填できない状況等、当法人の運営にとっては厳しい改訂となった。報酬改訂の詳細がぎりぎりまではつきりしない中での予算組みとなり、見

込みと実施状況にどの程度の差が生じるか判らないが、運営の際は取りこぼし等がないように注視し収入の確保と運営安定に極力努める。

平成30年度の障害福祉サービスの報酬改定では、就労移行支援事業の就労実績を基準とした基本報酬単価の設定や、就労継続支援事業で廃止となった目標工賃達成加算部分を新たな基本報酬単価では補填できない状況等、当法人の運営にとっては厳しい改訂となった。報酬改訂の詳細がぎりぎりまではつきりしない中での予算組みとなり、見

による虐待の予防、虐待を見逃さない体制を浸透させていく。運営状況は厳しいが前年度に続き、建替えに必要な積立資金を確保する。また建替えに向け、東京都と相談しながら準備を進めていく。

印刷事業は従来の紙媒体の印刷事業については引き続き縮小を進める。併せてTシャツプリント事業を拡大し、軌道に乗せていく。

【就労支援事業活動】

印刷事業は従来の紙媒体の印刷事業については引き続き縮小を進める。併せてTシャツプリント事業を拡大し、軌道に乗せていく。

オイルエレメント事業はISO9001を2015年版へ移行する。納期や品質管理を徹底し、引き続き取引先から信頼が得られるよう取り組む。

ウエス事業は作業の効率化や経費削減をはかることで収益を出せるように努力する。また、統括営業部と連携し新規開拓を行う。

まどか作業部門においては、ここ数年の好調を維持し、更なる工賃向上に取り組む。

その他武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業を引

き続き取り組む。瑞穂町福祉作業所に於いても工賃向上を目指し、箱折りを中心とした様々な作業等行っており、少しでも売上を伸ばし工賃に還元出来る様にする。

就労支援事業に於ける職員の責務は単に仕事量の確保だけではない。工賃の保障は最重要課題である一方で、やりがいとしての仕事という側面もある。利用者の可能性を見つけ、伸ばしていく事も重要である。その為の視点を持ち工夫を怠らないよう職員は取り組む。

【地域福祉】

瑞穂町との指定管理契約のもと、就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所さくらは運営開始から9年目、瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみは3年目に入る。瑞穂町福祉作業所さくらは、利用者の情操を高める事を目的に作業以外の取り組みにも力点を於いて活動を行う。瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみは他の事業とは異なり、障がい児や介助を伴

う重度障がい者の支援に取り組んでおり、更なる支援力の向上を目指す。

あかつきコロナ相談支援センターは、計画作成等の実施件数が300件を越えた。今年度は個々の計画相談に係る支援内容の更なる充実を目指す。地域の福祉サービス利用者のニーズに応えられるよう、地域、関係機関と連携し、その機能を果たしていく。

今年度も引き続き武蔵村山市障害者就労支援センターとら、瑞穂町障害者就労支援センターをそれぞれの自治体と受託契約を結び実施する。平成30年度より、これまで雇用義務の対象外だった精神障がい者が雇用義務の対象となり、障がい者雇用率が2%から2.2%に引き上げられた。今回の雇用率引き上げにより一般企業からの障がい者求人が増えると考えられる。

これによりセンターへの期待や負荷が更にかかってくるだろうが一人でも多く就労へ繋げられるように支援していく。ま



た、就職者数を上げていくことと同時に、仕事を継続していくための定着支援、生活支援にも力を入れて、障がい者が安定して働いていけるよう努力していく。

地域の障がい者福祉の向上に尽力していく。障害支援区分審査会への委員派遣、自立支援協議会への委員の派遣を継続するとともに、自立支援協議会の各部会にも積極的に関わっていく。また地域の福祉作業所や関係団体と連携をはかりネットワーク化を推進し、地域の障がい者・児の生活がより豊かとなるよう福祉サービスの充実を図っていく。

2018（平成30）年度あかつきコロニー予算書

（自）2018（平成30）年 4月1日 （至）2019（平成31）年 3月31日

法人全体

（単位：千円）

勘 定 科 目		本年度予算	前年度予算	差異
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	99,920	103,100	△ 3,180
	障害福祉サービス等事業収入	323,890	321,165	2,725
	生活保護事業収入	600	630	△ 30
	その他事業収入	120	0	120
	借入金利息補助金収入	94	94	0
	経常経費寄附金収入	270	320	△ 50
	受取利息配当金収入	5	5	0
	その他の収入	781	1,145	△ 364
	事業活動収入計（1）	425,680	426,459	△ 779
	支出			
	人件費支出	257,153	259,414	△ 2,261
	事業費支出	24,172	22,683	1,489
	事務費支出	35,448	34,454	994
施設整備等による収支	就労支援事業支出	100,250	103,100	△ 2,850
	支払利息支出	120	120	0
	事業活動支出計（2）	417,143	420,371	△ 3,228
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）	8,537	6,088	2,449
	収入			
	施設整備等補助金収入	0	0	0
	設備資金借入金収入	0	0	0
	その他の施設整備等による収入	163	163	0
	施設整備等収入計（4）	163	163	0
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	792	792	0
	固定資産取得支出	0	370	△ 370
	その他の施設整備等による収入	163	163	0
	施設整備等支出計（5）	955	1,325	△ 370
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）	△ 792	△ 1,162	370
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	0	0	0
	拠点区分間繰入金収入	8,130	8,010	120
	サービス区分間繰入金収入	3,818	3,883	△ 65
	その他の活動による収入計（7）	11,948	11,893	55
	支出			
	積立資産支出	7,000	4,800	2,200
	拠点区分間繰入金支出	8,130	8,010	120
	サービス区分間繰入金支出	3,818	3,883	△ 65
	その他の活動による支出計（8）	18,948	16,693	2,255
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）	△ 7,000	△ 4,800	△ 2,200
予備費支出（10）		745	126	619
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）		0	0	0

前期末支払資金残高（12）	0	111,761	△ 111,761
当期末支払資金残高（11）＋（12）	0	111,761	△ 111,761

平成29年度事業報告

現在では様々な経営主体が福祉事業へ参入出来るようになり、社会福祉法人の在り方が問われるようになった。これにより、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域に於ける公益的取組、行政関与の在り方について社会福祉制度改革に盛り込んだ改正社会福祉法が施行された。これに伴い、当法人も新しい体制下での法人運営となった。また、改正社会福祉法人法の柱の一つに福祉人材確保の推進が挙げられた。現在、何処の業種も人手不足の問題を抱えており、福祉の分野でも多聞に洩れず深刻な状況である。当法人も、職員の退職に伴う新規採用や異動等、人の動きの多い1年で、人材確保に苦慮した。世代交代に向けた職員の人材育成を重要課題としているが、職員の定着なくしてその実現は厳しい。新たに入職した職員がその能力を発揮し、やりがいを持って業務に従事出来る様に取り組

んだ。

【福祉事業活動】

法人全体では当期事業活動増減差額が553万円、当期資金収支差額では633万円となった。修繕や建替えの為の積立資産として合計480万円を計上した。

一般就職者数は、就労移行支援セルフあかつきから6名、就労継続支援B型あかつき授産所及びスペース・まどかから各1名と、合計8名を出す事ができた。

人事考課制度により半年に一度、各職員と上位職員が個別面談を通して、業務上の課題や目標を確認した。

利用者支援の向上への取り組みとして、法人3施設に於いては、合同でリスクマネジメント委員活動を行い、リスク発生状況の把握とリスク対応について検討を行った。利用者の障がい特性からくる行動がリスクに繋がるケースも増えてきており、

環境整備に加え、益々支援力が問われている。通所者の見守り支援を実施した。虐待防止への取り組みとして、虐待防止チェックリストの活用や虐待防止マネジャーによる会議の実施、虐待防止員会を立ち上げた。内部研修として、障害者差別解消法についての研修会を外部講師を招いて実施した。東京都や東社協、地域自立支援協議会、一般社団法人ゼンコロ等主催の外部研修へも積極的に参加した。

【就労支援事業活動】

就労支援事業は、法人全体で事業活動増減差額が△162万円だった。内訳は、あかつき授産所が△387万円、スペース・まどかが68万円、瑞穂町福祉作業所が28万円、セルフあかつきが129万円、瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみが±0円となった。

オイルエレメント事業を実施している作業部1課に於いては、ISO9001の2015年度版移行に向けて準備を進めてきた。また、印刷事業に於いては前年度に引き続き事業の縮小を進めた。

就労継続支援B型のあかつき

授産所、スペース・まどか、瑞穂町福祉作業所の3事業所全てに於いて利用者の平均工賃を上げることができた。

【地域福祉】

瑞穂町との指定管理契約のもと、心身障害者（児）福祉センターあゆみの運営を開始し2年が経過した。受託2年目は従来の支援方針や運営内容を継続し信頼関係作りを継続しながら法人の特徴を出し、方針に沿った取組みを行った。同じく瑞穂町との指定管理契約のもと、運営を開始して8年が経過した就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所に於いては、新たに常勤職員を2名採用し支援の充実を図った。また、第三者評価を実施した。

あかつきコロニー相談支援センターは開設して5年が経過した。対象を障がい児にも広げたことで依頼も徐々に増えた。これに対応する為、兼任職員の相談支援に入る割合を増やした。結果、計画等の作成数は343件となり前年度比で123件増加、内65件が障がい児だった。

武蔵村山市障害者就労支援センターとらいは3月末現在登録

者数が286名となり、就職者は48名だった。新規登録者は30名だった。新たな就職先として3社開拓する事が出来た。

瑞穂町障害者就労支援センターは、3月末現在の登録者は123名となり、就職者数は17名出すことができた。新規登録者は16名だった。職場開拓で3社の採用に繋がった。

地域の取り組みとして、武蔵村山市障害支援区分審査会（介護給付費等の支給に関する審査会）への職員派遣、武蔵村山市自立支援協議会とこれに付随するプロジェクト委員会、専門部会への職員派遣及び瑞穂町自立支援協議会への職員派遣等を行い地域福祉向上への取り組みに協力した。

他にも各地域の関係機関・団体との会議、連絡会を通して、福祉のニーズや課題を共有し、障がい者・児の支援の向上を目指したネットワーク作りを推進した。

また、公益的な取り組みとして、地域子ども交流会を実施。事業所を開放して地域の児童の余暇活動の場として、無料上映会やゲーム、飲食の提供を行った。

貸借対照表

2018(平成30)年3月31日 現在

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	142,549,126	137,591,445	4,957,681	流動負債	34,053,326	32,536,867	1,516,459
現金預金	109,113,639	95,002,861	14,110,778	事業未払金	10,685,235	12,766,351	△ 2,081,116
事業未収金	10,464,926	14,323,104	△ 3,858,178	その他の未払金	17,856,593	17,968,155	△ 111,562
未収金	32,718,647	35,149,249	△ 2,430,602	1年以内返済予定設備資金借入金	792,000	792,000	
受取手形	448,031	427,547	20,484	未払費用	3,324,735	2,792,258	532,477
商品・製品	983,661	2,471,990	△ 1,488,329	預り金	25,376	52,521	△ 27,145
原材料	1,696,219	3,443,571	△ 1,747,352	職員預り金	114,333	239,035	△ 124,702
立替金	1,350,326	1,301,543	48,783	仮受金	4,459,107	782,350	3,676,757
前払金	39,768	70,754	△ 30,986	賞与引当金	11,481,750	11,830,000	△ 348,250
前払費用	184,902	84,629	100,273	その他の流動負債	△ 14,685,803	△ 14,685,803	
仮払金	234,810	2,000	232,810	固定負債	3,960,000	4,752,000	△ 792,000
その他の流動資産	△ 14,685,803	△ 14,685,803		設備資金借入金	3,960,000	4,752,000	△ 792,000
固定資産	260,007,848	265,615,444	△ 5,607,596	負債の部合計	38,013,326	37,288,867	724,459
基本財産	213,259,787	218,081,330	△ 4,821,543	純 資 産 の 部			
土地	92,920,862	92,920,862		基本金	156,178,608	156,178,608	
建物	120,338,925	125,160,468	△ 4,821,543	基本金	156,178,608	156,178,608	
その他の固定資産	46,748,061	47,534,114	△ 786,053	国庫補助金等特別積立金	119,838,917	126,746,121	△ 6,907,204
構築物	2	2		国庫補助金等特別積立金	119,838,917	126,746,121	△ 6,907,204
機械及び装置	2,673,866	6,724,875	△ 4,051,009	その他の積立金	38,291,748	33,491,748	4,800,000
車輛運搬具	8	343,390	△ 343,382	備品購入積立金	7,000,000	7,000,000	
器具及び備品	5,644,491	6,614,145	△ 969,654	修繕積立金	13,245,000	11,445,000	1,800,000
権利	177,714	177,714		基本特定積立資産	300,000	300,000	
備品購入積立預金	7,000,000	7,000,000		その他の積立資産	17,746,748	14,746,748	3,000,000
修繕積立預金	13,245,000	11,445,000	1,800,000				
基本特定積立資産	300,000	300,000		次期繰越活動増減差額	50,234,375	49,501,545	732,830
その他の積立資産	17,746,748	14,746,748	3,000,000	次期繰越活動増減差額	50,234,375	49,501,545	732,830
長期前払費用	△ 39,768	182,240	△ 222,008	(うち当期活動増減差額)	5,532,830	4,583,219	949,611
				純資産の部合計	364,543,648	365,918,022	△ 1,374,374
資産の部合計	402,556,974	403,206,889	△ 649,915	負債及び純資産の部合計	402,556,974	403,206,889	△ 649,915

資金収支計算書

(自)2017(平成 29)年 4 月 1 日 (至)2018(平成 30)年 3 月 31 日

(単位 : 円)

勘 定 科 目			予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	収 入	就労支援事業収入	103,100,000	102,043,071	△ 1,056,929
		障害福祉サービス等事業収入	321,165,000	320,656,107	△ 508,893
		生活保護事業収入	630,000	568,710	△ 61,290
		借入金利息補助金収入	94,000	41,679	△ 52,321
		経常経費寄附金収入	320,000	234,596	△ 85,404
		受取利息配当金収入	5,000	5,622	622
		その他の収入	1,145,000	1,068,770	△ 76,230
		事業活動収入計(1)	426,459,000	424,618,555	△ 1,840,445
	支 出	人件費支出	259,414,000	258,493,984	920,016
		事業費支出	22,683,000	20,650,281	2,032,719
		事務費支出	34,454,000	30,406,018	4,047,982
		就労支援事業支出	103,100,000	102,396,500	703,500
		支払利息支出	120,000	49,215	70,785
		その他の支出	600,000	587,899	12,101
		事業活動支出計(2)	420,371,000	412,583,897	7,787,103
事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)		6,088,000	12,034,658	5,946,658	
施設整備等による収支	収 入	固定資産売却収入		70,000	70,000
		その他の施設設備等による収入	163,000	129,195	△ 33,805
		施設整備等収入計(4)	163,000	199,195	36,195
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	792,000	792,000	
		固定資産取得支出	370,000	313,200	56,800
		その他の施設設備等による支出	163,000		163,000
		施設整備等支出計(5)	1,325,000	1,105,200	219,800
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)		△ 1,162,000	△ 906,005	255,995
その他の活動による収支	収 入				
		その他の活動収入計(7)	15,727,000	1,500,120	△14,226,880
	支 出	積立資産支出	4,800,000	4,800,000	
		その他の活動支出計(8)	4,800,000	4,800,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)		△ 4,800,000	△ 4,800,000	
予備費支出(10)		126,000	—	126,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)			6,328,653	6,328,653	

前期末支払資金残高(12)		111,761,017	111,761,017
当期末支払資金残高(11)+(12)		118,089,670	118,089,670

事業活動計算書

(自)2017(平成 29)年 4 月 1 日 (至)2018(平成 30)年 3 月 31 日

(単位：円)

勘 定 科 目			当年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	102,043,071	120,433,826	△18,390,755
		障害福祉サービス等事業収益	320,656,107	321,343,019	△686,912
		生活保護事業収益	568,710	597,318	△28,608
		経常経費寄附金収益	234,596	292,379	△57,783
		サービス活動収益計(1)	423,502,484	442,666,542	△19,164,058
	費 用	人件費	258,145,734	263,774,756	△5,629,022
		事業費	20,650,281	21,311,136	△660,855
		事務費	30,406,018	32,146,829	△1,740,811
		就労支援事業費用	106,416,633	118,321,309	△11,904,676
		減価償却費	7,262,312	8,937,694	△1,675,382
国庫補助金等特別積立金取崩額		△6,907,204	△5,599,856	△1,307,348	
サービス活動費用計(2)		415,973,774	438,891,868	△22,918,094	
サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)		7,528,710	3,774,674	3,754,036	
サービス活動外増減の部	収 益	借入金利息補助金収益	41,679	68,451	△26,772
		受取利息配当金収益	5,622	8,067	△2,445
		その他のサービス活動外収益	1,068,770	1,597,877	△529,107
		サービス活動外収益計(4)	1,116,071	1,674,395	△558,324
	費 用	支払利息	49,215	77,139	△27,924
		その他のサービス活動外費用	587,899	788,707	△200,808
		サービス活動外費用計(5)	637,114	865,846	△228,732
	サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)		478,957	808,549	△329,592
	経常増減差額(7)=(3)+(6)		8,007,667	4,583,223	3,424,444
特別増減の部	収 益	固定資産売却益	69,999		69,999
		サービス区分間繰入金収益		3,800,000	△3,800,000
		特別収益計(8)	69,999	3,800,000	△3,730,001
	費 用	固定資産売却損・処分損	2,452,023	4	2,452,019
		サービス区分間繰入金費用		3,800,000	△3,800,000
		その他の特別損失	92,813		92,813
		特別費用計(9)	2,544,836	3,800,004	△1,255,168
	特別増減差額(10)=(8)－(9)		△2,474,837	△4	△2,474,833
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		5,532,830	4,583,219	949,611
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		49,501,545	48,418,206	1,083,339
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		55,034,375	53,001,425	2,032,950
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)			1,500,120	△1,500,120
	その他の積立金積立額(16)		4,800,000	5,000,000	△200,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)－(16)		50,234,375	49,501,545	732,830

財 産 目 録 2018(平成 30)年 3 月 31 日 現在 (単位：円)						
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—	運転資金として	—	—	109,113,639
事業未収金		—	就労支援事業収入未収金	—	—	10,464,926
未収金		—	3 月分訓練等給付費	—	—	32,718,647
受取手形		—	就労支援事業収入未収金	—	—	448,031
商品・製品		—	就労支援事業商品棚卸し	—	—	983,661
原材料		—	就労支援事業材料棚卸し	—	—	1,696,219
立替金		—	3 月分諸経費	—	—	1,350,326
前払金		—	保険料	—	—	39,768
前払費用		—	保険料	—	—	184,902
仮払金		—	3 月分諸経費	—	—	234,810
その他の流動資産		—		—	—	△ 14,685,803
流動資産合計						142,549,126
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	法人本部拠点 4		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	92,920,862		92,920,862
建物	法人本部拠点 7、あかつき授産所拠点 1		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	385,993,499	265,654,574	120,338,925
基本財産合計						213,259,787
(2) その他の固定資産						
構築物	避難用ブリッジ あかつき授産所拠点	—	第二種社会福祉事業であるあかつき授産所に使用	675,000	674,998	2
機械及び装置	四色機等 計39点	—	事業運営に使用	122,918,914	120,245,048	2,673,866
車輛運搬具	計8台	—	利用者送迎、就労支援事業用	12,816,619	12,816,611	8
器具及び備品	PC、空調設備等 計63点	—	事業運営に使用	24,805,624	19,161,133	5,644,491
権利	電話加入権	—	事業運営に使用	—	—	177,714
備品購入積立預金	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械等の購入・交換の目的のための積立	—	—	7,000,000
修繕積立預金	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立	—	—	13,245,000
基本特定積立資産	りそな銀行 村山支店	—	基本財産として保有する	—	—	300,000
備品購入積立預金	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械等の購入・交換の目的のための積立	—	—	1,184,337
修繕積立預金	りそな銀行 村山支店 他	—	器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立	—	—	10,093,886
人件費積立預金	多摩信用金庫 残堀支店	—	給与及び賃金等、職員処遇に必要な経費に充てるための積立	—	—	2,468,525
施設整備積立金	りそな銀行 村山支店	—	将来における建物建替えの目的のための積立	—	—	4,000,000
長期前払費用		—	保険料	—	—	△ 39,768
その他の固定資産合計						46,748,061
固定資産合計						260,007,848
資産合計						402,556,974
Ⅱ 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—	3 月分 水道光熱費 他	—	—	10,685,235
その他の未払金		—	3 月分 水道光熱費 他	—	—	17,856,593
1 年以内返済予定設備資金借入金		—	独立行政法人福祉医療機構	—	—	792,000
未払費用		—	3 月分 水道光熱費 他	—	—	3,324,735
預り金		—	3 月分 源泉所得税 他	—	—	25,376
職員預り金		—	3 月分 源泉所得税 他	—	—	114,333
仮受金		—		—	—	4,459,107
賞与引当金		—		—	—	11,481,750
その他の流動負債		—		—	—	△ 14,685,803
流動負債合計						34,053,326
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	—		—	—	3,960,000
固定負債合計						3,960,000
負債合計						38,013,326
差引純資産						364,543,648

事業所紹介 スペース・まどか

スペース・まどかは、39名の利用者さんが在籍しています。長期でお休みしている方もおり、日々の通所人数は平均して23名程度となっています。しかし、早退や遅刻する方もいらっしゃるので時間帯によって更に人数は少なくなります。

そんなスペース・まどかでは、普段どんな作業をしているのでしょうか？今回は、ここで主にしている三つの作業を紹介します。

其の一 ゴム管作業

車のエンジン回りの部品組み立ての作業です。ゴム管は二種類あり、20センチ程度の短いものは両端にスランプで印をつけ、それに合うようにメッシュを通していき、最後に瞬間接着剤でメッシュを固定させます。もう一種類は、55センチ程度で太いゴム管です。ゴム管がくねくねと曲がっている為、金属の棒に差し込んで、おおよそ真つ直ぐにしてからメッシュを通していきます。こちらにも接着剤で固定し、メッシュがずれないようにしています。

部材の入り状況や業者様からの指示によって違いはありますが、毎日多いときで1200本、少なくとも750本程度を製造しています。一昨年の7月から始めたゴム管作業は、概ね5〜6名の固定メンバーになっており、熟練の手さばきを見せれています。



其の二 ダイレクトメール封入作業

毎回同じものではなくその都度、指示も違ってきます。封入順・封入向きやラベルの貼り位置などそれぞれ確認をして作業に取り組んでいます。決められた納期に間に合うよう協力し合いながら作業を行います。封入点数が少ないもので1点というものもありますが、多いものになると7点や10点以上を封入するというものもあります。封入↓グラム検品↓目視検品↓封緘↓ラベル貼り↓結束という順番を守り、間違いないように注意しながら取り組んでいます。



其の三 箱の組立作業

主なものとして、箱を組立ててから化粧品を入れ、出荷する作業があります。組立そのものは難しくありませんが、部材が大きい為、一台のテーブルで二人程度しか作業ができないのが難点です。段ボール素材で指など切れ易い為、ケガをしないように気をつけながら取り組んでいます。実はこの作業、作業部三課でも行っていたため、協力しながら取り組んでいます。

私達の行なっている作業、少しはイメージできたでしょうか？しかし、今回紹介したのは、日々の作業のほんの一部に過ぎません。他に、箱の折り目付け作業や回転砥石にカバーを貼る作業、施設外作業等々様々な作業に取り組んでおり、作業の種類の多さでは法人内随一だと自負しています。利用者さんと職員が協力して様々な作業に日々取り組んでいます。

(サービス管理責任者
藤澤 真司)

新 人 紹 介

みなさんよろしくお願ひしま〜す！！



■3月22日から入所した長田文寿です。
趣味は音楽です。
頑張りますのでよろしくお願いします。

セルフあかつき 長田 文寿 さん



■今年の4月から入りました。岡野翔太郎です。初めてで分からない事が多いけど毎日月曜日から金曜まで出勤しています。休日は野球が好きなので家で試合をよくみています。

セルフあかつき 岡野翔太郎 さん



■平成30年4月から、セルフあかつきに入りまして、日々、訓練を行い、毎日をごしております。今後は、毎日、訓練を行っていきます。

セルフあかつき 児玉 崇 さん



■6月1日にはいりました。休みのひはおかさんとゲームセンターに行くことです。せいぶらいおんずのファンです。よろしくおねがいします。

セルフあかつき 伊藤 実 さん



■6月19日
しゅみはさしこと、あみものです。
やすみのひは、めいっことあそんだり、かいものにいたり、でかけたりしています。

セルフあかつき 杉本 敬子 さん



■今年度の4月から入社させていただきました田中伸幸です。自分の趣味は、音楽を聞く事です。一番好きなアーティストは、西野カナです。まだ、入ったばかりでなにも分かりませんが、一課のお役に立てるように頑張りますので宜しくお願いします。

作業部1課 田中 伸幸 さん



■平成三十年四月から作業部二課に入りました。岡江英明と申します。趣味は、太鼓の達人と動画を観る事と音楽を聴く事です。特技は、難しい漢字を書く事です。後は、色々な食べ物を頂く事です。就職を目指して頑張ります。廊下で、会いましたら話をかけて下さいませようお願いします。

作業部2課 岡江 英明 さん



■4月から作業部3課に入りました。好きなアイドルは嵐です。大野くんが大好きです。仕事がんばります。よろしくお願いします。

作業部3課 池島千恵里 さん



■4月からスペース・まどかにてお仕事をさせていただいています。特技は「柔道」です。まだまだ不慣れではありますが、頑張りますので、よろしくお願いします。

スペース・まどか 畠山 博美 さん



■4月よりスペースまどかにて勤務しています。施設長をはじめ、明るく優しい職員の皆さんに助けをいただきながら大変良い環境で働かせていただいています。利用者様が自分らしく力を発揮出来るよう全力でサポートし、利用者様と共に良い仕事をしていきたいと思ひます。

スペース・まどか 島田 真理 さん



■羽村特別支援学校を卒業してさくらに入所しました井上拓弥です。さくらの皆様に温かく迎えていただき、安心して作業に就くことが出来ます。引き続きよろしくお願いいたします。

瑞穂町福祉作業所 井上 拓弥 さん



■3月末より瑞穂町障害者就労支援センターで非常勤職員としてお世話になっています。生まれ故郷の瑞穂町で、少しでも利用者様のお役に立てるよう、がんばります。

瑞穂町障害者就労支援センター 田島 英幸 さん

主な事柄

1月

5 新年会 (法人施設)
13 寿楽・あゆみもちつき大会 (あゆみ)

5月

19 保護者会 (作業部一課 12日迄)
20 保護者会 (あゆみタイムケア)
24 地震避難訓練 (法人施設)
28 あゆみ合同避難訓練

2月

17 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (押川)
24 瑞穂町生活部会 (高橋)

4月

15 じゅさんれん企画委員会 (熊谷)
20 武蔵村山市相談支援部会 (熊谷)
22 就労ネット (神山・小室)
28 報酬改訂説明会 (永井・熊谷・渡辺・五十嵐・藤本)

6月

29 安全運転管理者講習 (永井)
31 北多摩西部施設連絡会 (新庄)
31 ゼンコロ理事会・総会 (高橋6月1日迄)

2月

14 瑞穂町駅伝大会参加
16 保護者会 (あゆみ地活)
18 保護者会 (あゆみタイムケア)
27 避難訓練 (あゆみ地活)
50周年記念誌委員会
27 避難訓練 (あゆみタイムケア)

6月

2 50周年記念誌委員会
31 50周年記念誌委員会 (あゆみ)
1 保護者会 (さくら)
7 理事会
10 瑞穂町ふれあい運動会 (さくら・あゆみ)
21 避難訓練 (あゆみ地活)
22 火災避難訓練 (法人施設)
27 評議員会
29 保護者会 (授産所)

5月

15 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋)
26 羽村特別支援学校運営連絡協議会 (西出)
21 武蔵村山市日中活動部会 (小室)
22 就労ネット (高橋一・大野)
26 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (高橋・五十嵐)

4月

12 ゼンコロ運営委員会 (遠藤 13日迄)
13 業務連絡会 (熊谷・富田)
19 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (大滝)
20 瑞穂町障害施設防犯講習会 (さくら・あゆみ)
25 武蔵村山市日中活動部会 (永井)
26 就労ネット (高橋一・大野)
28 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (高橋・五十嵐)

7月

4 知的支援専門研修会 (田島 6日迄)
11 瑞穂町生活部会 (高橋)
12 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (大滝・押川)
13 ゼンコロスキルアップ研修 (西出・戸村・遠藤13日迄)
17 業務連絡会 (富田)
19 武蔵村山市相談支援部会 (神山 小室)
25 就労支援課題別セミナー (田島)
26 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (高橋)
28 障害者雇用連絡会議 (富田)
29 就労ネット (高橋一・大野)

3月

8 高崎特別支援学校教諭見学 (セルプ)
27 避難訓練 (あゆみタイムケア)
26 火災避難訓練 (法人施設)
27 たまこヒルズ職員研修 (まどか)
28 避難訓練 (あゆみ地活)
10 のぞみ祭り (小俣)
14 虐待防止マネジャー会議
22 避難訓練 (あゆみタイムケア)
26 避難訓練 (あゆみ地活)
27 理事会
27 評議員選任・解任委員会
たまこヒルズ職員研修 (まどか)

7月

6 50周年記念誌委員会
18 避難訓練 (あゆみタイムケア)
29 避難訓練 (あゆみタイムケア)
30 避難訓練 (あゆみタイムケア)
31 避難訓練 (あゆみタイムケア)

3月

1 災害活動相互応援協定締結施設連絡会 (遠藤)
2 ゼンコロ理事会 (高橋)
5 ゼンコロ総会 (高橋・遠藤)
7 防火防災講習会 (稲場)
8 就労定着支援事業指定事務説明会 (熊谷・遠藤)
9 業務連絡会 (熊谷)

5月

11 WIIJ理事会 (高橋)
15 業務連絡会 (熊谷・富田)
16 武蔵村山市相談支援部会 (神山・小室)
21 瑞穂町生活部会 (高橋)
22 東社協身障部会総会 (永井)
24 東京都事業説明会 (永井・茂木)
26 瑞穂町特定相談連絡会 (大滝)
27 主事任用資格スクーリング (増淵 26日迄)
28 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・利根川)
29 就労ネット (高橋一・大野)
30 WIIストックホルム会議

7月

11 瑞穂町生活部会 (高橋)
12 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (大滝・押川)
13 ゼンコロスキルアップ研修 (西出・戸村・遠藤13日迄)
17 業務連絡会 (富田)
19 武蔵村山市相談支援部会 (神山 小室)
25 就労支援課題別セミナー (田島)
26 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (高橋)
28 障害者雇用連絡会議 (富田)
29 就労ネット (高橋一・大野)

出張・研修

1月

6 瑞穂町賀詞交換会 (高橋・五十嵐)
10 武蔵村山市市長挨拶 (高橋・利根川・遠藤)
12 業務連絡会 (熊谷)
16 会計決算実務研修会 (松木 17・30日)

3月

1 災害活動相互応援協定締結施設連絡会 (遠藤)
2 ゼンコロ理事会 (高橋)
5 ゼンコロ総会 (高橋・遠藤)
7 防火防災講習会 (稲場)
8 就労定着支援事業指定事務説明会 (熊谷・遠藤)
9 業務連絡会 (熊谷)

5月

11 WIIJ理事会 (高橋)
15 業務連絡会 (熊谷・富田)
16 武蔵村山市相談支援部会 (神山・小室)
21 瑞穂町生活部会 (高橋)
22 東社協身障部会総会 (永井)
24 東京都事業説明会 (永井・茂木)
26 瑞穂町特定相談連絡会 (大滝)
27 主事任用資格スクーリング (増淵 26日迄)
28 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・利根川)
29 就労ネット (高橋一・大野)
30 WIIストックホルム会議

7月

11 瑞穂町生活部会 (高橋)
12 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (大滝・押川)
13 ゼンコロスキルアップ研修 (西出・戸村・遠藤13日迄)
17 業務連絡会 (富田)
19 武蔵村山市相談支援部会 (神山 小室)
25 就労支援課題別セミナー (田島)
26 瑞穂町社福法人連絡会・部会 (高橋)
28 障害者雇用連絡会議 (富田)
29 就労ネット (高橋一・大野)

4月

30 虐待防止委員会 (まどか)
11 QMSサーベイランス審査
2015年度版移行審査

12月

16 会計決算実務研修会 (松木 17・30日)

9月

9 業務連絡会 (熊谷)

27月

27 WIIストックホルム会議

26月

26 就労ネット (高橋一・大野)

寄 贈

2月2日、トラック協会様より図書カード、電動シユレッターのご寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。

購入事業完了のお知らせ

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみでは、社会福祉法人東京都共同募金会より配分金を受け、フロアマットを購入しましたことを報告します。

事業名…フロアマット購入事業
（4組購入）
事業総額…一七二、八〇〇円
配分金…一二〇、〇〇〇円

入所・退所

入 所

3月 長田 文寿（セルプ）
田島 英幸（瑞穂就労）
4月 岡野翔太郎（セルプ）
児玉 崇（セルプ）
田中 伸幸（授産所）
岡江 英明（授産所）
池島千恵里（授産所）
石井 清恵（まどか）
島田 真理（まどか）
畠山 博美（まどか）

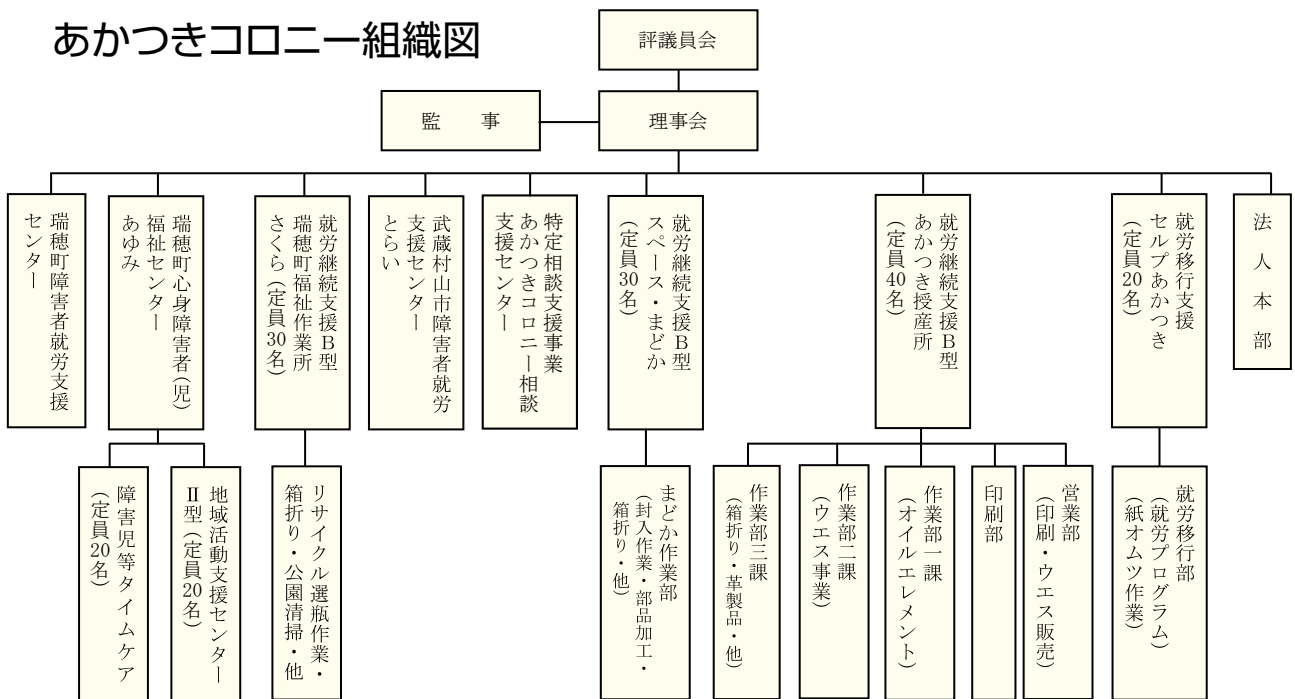
退 所

6月 井上 拓弥（さくら）
伊藤 実（セルプ）
杉本 敬子（セルプ）
矢島 涼（まどか）
7月 渡辺 仙人（まどか）
1月 双木 翼（セルプ）
秋元 望美（セルプ）
2月 佐々木利二（授産所）
宮崎 幸雄（まどか）
島岡 礼子（セルプ）
小川真紀夫（授産所）
大勝 修（さくら）
3月 志田 有紀（さくら）
福罵 明（授産所）
勝田 明（まどか）
舟久保宏子（まどか）
渡邊 裕紀（セルプ）
4月 鈴木嘉武人（セルプ）
古澤 哲也（セルプ）
5月 岡崎 春香（まどか）
平野 美里（さくら）
6月 高橋由紀子（まどか）
7月 竹内 祐治（さくら）

計 報

あかつき授産所
佐々木利二さん（1月25日）
小川真規夫さん（2月3日）
瑞穂町福祉作業所さくら
志田 有紀さん（2月16日）
スペース・まどか
岡崎 春香さん（5月19日）
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

あかつきコロニー組織図



役員・評議員

理事	常務理事	監事	評議員
鈴木 賢一	高橋 毅	五十嵐 崇	前崎 一郎
湯澤 弘	永井 眞	熊谷 昌	小峯 邦明
岩橋 毅	熊谷 眞	田代 政和	浅川 勤
栗原 康明	岩瀬 香世	吉田 正幸	川崎 忠正